

中井だより

中井やまゆり園

当事者目線の支援アクションプラン

支援企画担当部長 為田 徹

年々、夏の暑さが厳しくなっているように感じます。「今年は例年よりも厳しい暑さ」「観測史上最高気温を更新」「猛暑日が〇日連続」という言葉を毎年ニュースで聞いている気がしますが、今年は本当に暑いです。外に出るのをためらうぐらいの暑さです。

そのような中、利用者の皆様は水分補給や熱中症予防等、体調管理に最大限気をつけながら、日中活動に前向きに取り組んでいます。

今年度は秦野駅前の活動拠点「らっかせい」や、中井町内の農園など、外での活動が増えました。朝、園を出た時よりも少し日焼けをした顔で園に戻ってくる利用者さんを見ると、逞しさを感じます。今後も、季節に合わせた安全配慮を徹底しながら、日々の活動を充実させていきたいと考えています。

さて、この度、県では「県立中井やまゆり園当事者目線の支援アクションプラン」を策定しました。このアクションプランは、今年5月に取りまとめられた「県立中井やまゆり園当事者目線の支援改革プログラム」の提言を実践するために、取組内容やスケジュールを具体化したものです。

アクションプランは4つの柱で構成されています。

- ①人生に共感し、チームで支援する
- ②暮らしをつくる
- ③いのちを守る施設運営
- ④施設運営を支える仕組みの改善

この4つの柱に基づき、園と県本庁が一体となって、利用者一人ひとりの目線に立ち、利用者が主体となれるよう人生を支援するとともに、利用者一人ひとりがその人らしく望む暮らしが実現できるよう、地域共生社会を目指す取組を進めます。

また、アクションプランを作っただけで終わらせず、確実に実施していくために、定期的に第三者に進捗確認をしていただくこととしています。

アクションプランは今年から3年間（令和5年度から7年度まで）を計画期間としています。この取組により、中井やまゆり園がどう変わったのか、だけではなく、利用者さんの暮らしがどう変わったか、という視点で、評価をいただければと思います。

今後ご家族・後見人の皆様と意見交換をさせていただきながら、利用者さんの生活をより良いものにしていきたいと思っております。引き続きよろしくお願いたします。